

当医院からのご案内

～保険医療機関であること、個人情報の取扱いについて～

- 当院は厚生労働大臣の定める基準に基づいて診療を行っている保険医療機関です。
- 問診票、診療録、検査記録、エックス線写真、歯型、処方せん等の「個人情報」は、こちら(①、②)の利用目的以外には使用しません。

～明細書及び診療情報に関する文書の発行について～

- 当院では、個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書を発行しております。明細書には、使用した薬剤の名称や行われた検査の名称が記載されるものですので、その点、ご理解頂いた上で、発行を希望される方はお申し出ください。なお、全ての患者さんへの明細書の発行については、自動入金機の改修が必要なため、現時点では行っておりませんので、その旨ご了承ください。
- 当院では、診療情報の文書提供に努めています。

～新しい義歯(取り外しできる入れ歯)を作るときの取扱い～

- 新しい義歯を保険で作る場合には、前回製作時より6ヵ月以上を経過していなければできません。他の歯科医院で作られた義歯の場合も同様です。

◆当医院は、以下の施設基準等に適合している旨、厚生労働省地方厚生(支)局に届出を行っています。

施設基準項目一覧

□ 初診料(歯科)の注1に掲げる基準

歯科外来診療における院内感染防止対策に十分な体制の整備、十分な機器を有し、研修を受けた常勤の歯科医師及びスタッフがおります。

□ 歯科外来診療医療安全対策加算 1

医療安全対策に関する研修を受けた歯科医師及び医療安全管理者を配置、自動体外式除細動器(AED)を保有し、緊急時の対応及び医療安全について十分な体制を整備しています。

□ 歯科外来診療感染対策加算2

院内感染管理者を配置しており、院内感染防止対策について十分な体制を整えているほか、感染症法上での新興感染症等の発生時においても医科医療機関等との連携を取りつつ円滑な歯科診療を実施するとともに、新興感染症等により患した(疑似症状を含む)他の医療機関からの患者さんを受け入れるための体制を整備しています。

□ 有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査

義歯(入れ歯)装着時の咀嚼能力を測定するために、咀嚼能率測定用のグルコース分析装置を備えています。

□ 歯科技工士連携加算2

患者さんの補綴物製作に際し、歯科技工士(所)との連携体制を確保しています。また、必要に応じて情報通信機器を用いた連携も実施いたします。

□ CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー

CAD/CAMと呼ばれるコンピュータ支援設計・製造ユニットを用いて製作される冠やインレー(かぶせ物、詰め物)を用いて治療を行っています。

☐ クラウン・ブリッジ維持管理料

装着した冠(かぶせ物)やブリッジについて、2年間の維持管理を行っています。

☐ 歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)

産業全体で賃上げが進む中、医療現場で働く方々の賃上げを行い、人材確保に努め、良質な医療提供を続けることができるようにするための取組です。ご理解くださいますよう、お願い致します。

☐ 小児口腔機能管理料の注3に規定する口腔管理体制強化加算

歯科疾患の重症化予防に資する継続管理(口腔機能等の管理を含むもの)、高齢者・小児の心身の特性及び緊急時対応等に係る研修を全て修了するとともに、う蝕や歯周病の重症化予防に関する継続管理の実績があり、地域連携に関する会議等に参加しています。

☐ 歯科訪問診療料の注15

在宅で療養している患者さんへの診療を行っています。

☐ 一般名処方加算(1・2)

安定的な治療を提供する観点から、医薬品の処方は、有効成分が同一であればどの医薬品(後発医薬品含む)も調剤可能な「一般名処方」を行っており、その旨の十分な説明を実施しています。

☐ 歯科治療時医療管理料

患者さんの歯科治療にあたり、医科の主治医や病院と連携し、モニタリング等、全身的な管理体制を取ることができます。

☐ 歯科口腔リハビリテーション料2

顎関節症の患者さんに、顎関節治療用装置を製作し、指導や訓練を行っています。

～連携先医療機関～

- 当院では以下の医療機関と連携を取って診療を行っております。

連携先保険医療機関名：独立行政法人地域医療機能推進機構横浜中央病院

電話番号：045-641-1921

連携先保険医療機関名：横浜市立みなと赤十字病院

電話番号：045-628-6100

～当院が取り扱っている保険外併用療養費について～

- 当院では以下の保険外併用療養費を取り扱っております。

- 後発医薬品のある先進医薬品（長期収載品）の選定療養費について

後発医薬品（ジェネリック医薬品）があるお薬で、先発医薬品の処方を希望される場合には、先発医薬品と後発医薬品の薬価の差額の4分の1相当を、特別の料金として、医療保険の患者負担と合わせてお支払いいただきます。先発医薬品を処方・調剤する医療上の必要があると認められた場合は、特別の料金は要りません。

患者のみなさまへ

令和6年10月からの 医薬品の自己負担の新たな仕組み

- 後発医薬品(ジェネリック医薬品)があるお薬で、先発医薬品の処方希望される場合は、
特別の料金をお支払いいただきます。
- この機会に、後発医薬品の積極的な利用を
お願いいたします。

- 後発医薬品は、先発医薬品と有効成分が同じで、同じように使っていただけるお薬です。
- 先発医薬品と後発医薬品の薬価の差額の4分の1相当を、特別の料金として、医療保険の患者負担と合わせてお支払いいただきます。
- 先発医薬品を処方・調剤する医療上の必要があると認められる場合等は、特別の料金は要りません。

新たな仕組みについて

特別の料金の対象となる
医薬品の一覧などはこちらへ



後発医薬品について

後発医薬品(ジェネリック医薬品)
に関する基本的なこと



※ QRコードから厚生労働省HPの関連ページにアクセスできます。

将来にわたり国民皆保険を守るため
皆さまのご理解とご協力をお願いいたします



厚生労働省

ひと、くらし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare

～療養の給付とは直接関係ないサービス等の取扱いについて～

●当院では保険診療とは直接関係のない「サービス」又は「物」について以下のように取り扱っております。

～療養の給付とは直接関係のないサービス等の取扱いについて～

●当院では保険診療と直接関係のない「サービス」又は「物」について以下のように取り扱っております。

石川町ソレイユ歯科

院長 坪田 元子